



## 東地中海地域ニュース

### サウジアラビア：債券市場設立の動き

(6月7日付現地英字紙)

7日付アラブニュース紙(英字紙)は、資本市場庁(CMA)が債券市場を新たに立ち上げる計画であると報じた。概要は次の通りである。

1. 資本市場庁は6日、サウジ金融市場活性化の一環として、スクーク(イスラム債)を含む債券市場を開設すると発表した。同庁は、タダーウル証券取引所に、債権の発行、売買、決済、登録を許可する。現在2種類の債権が上場されており、店頭にて取引されている。市場の詳細および開設時期については、タダーウル証券取引所が責任をもって定めることとし、開設時期については言及がなかった。
2. ある政府筋は、本市場の開設がサウジの証券市場、特にスクーク市場を強化し、シャリーア(イスラム法)に準拠したものになる、と歓迎の意を示した。
3. ワタン・インベストメント社長のイハサン氏は、「今般の金融危機によって資金調達のコストが高騰していることから、スクークを含む債券市場設立の要望は極めて高く、銀行借り入れに依存せざるを得ない企業は市場開設を心待ちにしている。また(リスクを好まない)慎重な投資家にとっても、新たな債券市場は、資産運用のための新たな選択肢が増えることになり、歓迎すべきものであろう」とコメントした。
4. タダーウル証券取引所は、すでに代理店を通じた債権スクーク市場を開設している。
5. 以前CMAは、債権証券市場開設の計画を明らかにしていた。
6. 今年2月、サウジ通貨庁(SAMA)のジャーセル総裁は、資金調達のために銀行や企業に対し、債券発行による債券市場の活用を促していた。過去5年間に石油価格高騰による貸出量の増大により、サウジの銀行は、SAMAに課せられた預金量から定まる貸出比率の限界に達しており、2008年における銀行の貸出は、前年、前々年の合計額とほぼ同規模となるほど増大していた。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799